

## 第 2 調査の概要

### 1 調査の目的

本研究を進めるにあたっては、研究の概要において述べたように、特に理論的・実践的な研究を目指してきた。そのため、広く県内特殊学級及び特殊教育諸学校における教材・教具の開発と活用の現状を調査し、その結果をもとに、教材・教具の開発と活用の望ましい在り方について分析と考察を加えようとした。さらに、研究報告書を通して、優れた教材・教具の開発と活用の具体的な事例を広く紹介し、今後の指導の実践にすぐに役立てられるよう調査項目を設定した。

### 2 調査の内容

調査は、県内特殊学級及び特殊教育諸学校を対象に、調査票 1 では教材・教具の開発と現状の進め方や課題について調査し、調査票 2 では個々の教材・教具の開発と活用の具体的事例について調査した。主な調査内容は次のとおりである。

#### (1) 調査票 1 について

##### ア 教材・教具を開発の意義と課題

特殊教育において、教材・教具の開発の必要性について、担当者としてどのように考えるか、また、開発のための時間の確保や開発の方法について、どのような課題があるかを確かめ本研究の進め方の方向を探る。

##### イ 教材・教具の開発の進め方

特殊学級及び特殊教育諸学校とも、教材・教具の開発をどのように進めているか調査する。さらに、個人的または組織的に進めているかどうかの調査や、組織的に進める場合の具体的な方法を探る。

##### ウ 特殊学級における市販の教材・教具の活用

特殊学級については、特に、市販の教材・教具が多数活用されていると考えられるので、特殊学級担当者相互の参考となるよう活用事例を集約し、活用の在り方について研究を進めるための参考とする。

##### エ 特殊教育諸学校におけるパソコンの活用

特殊教育諸学校については、パソコンの設置と活用が進んでいるが、担当者相互の参考となるようその活用状況やソフトウェアの開発事例を集約するとともに、特殊教育におけるパソコンの活用の在り方について研究を進めるための参考とする。

#### (2) 調査票 2 について

調査票 2 は、実際に開発し活用している教材・教具の活用事例について調査することにした。調査項目は事例ごとに、ア 教材・教具名、イ 主に活用している領域・教科名、ウ ねらい、エ 工夫の要点、オ 使用の方法、効果などを中心に調査を実施することにした。

なお、教材・教具の開発と活用の具体的な事例を広く紹介し、今後の学習指導の実践にすぐに役立てられるよう、活用事例ごとに学校名、製作者名を記入してもらうことにより、担当者が相互に教材・教具の活用について情報交換ができるように配慮した。さらには、可能な限り写真や見取り図も提供してもらうことにより、実際の製作の参考になるようにした。